

桑名文化協会

平成15年3月15日
第13号
桑名市文化協会
桑名市中央町2丁目37
TEL 24-1361

文化協会10周年を前に



文化協会副会長 加藤武夫

桑名市民芸術文化祭が今年度で10周年を迎え、一年遅れて来年度が文化協会の創立10周年を迎えます。その活動の殆どが市民文化祭に終始して来た感がありますが、文化協会本部のあり方は会員相互の研鑽であり、交流であり、同時に地域文化の振興であります。

現在、理事会の中に三つの検討委員会をおき検討中であります。

一つは10周年記念行事の検討で、概ね、文化祭と一体化した記念行事（記念文化祭）に固まりつつあります。分野を越えた総合文化祭の様なもので、従来の部門発表会的な文化祭と一味違ったものになるはずであります。

二つ目が文化祭のあり方の検討であります。会員の日々の練習の成果を発表と共に、「芸術文化祭」の名にふさわしい質の高い発表会にしたいものであります。これを契機に十年続いた文化祭の転機にしたいと考え、多くの会員の参加、芸術性の昇華、観客の創造（動員）と三拍子揃っての発展にむけて努力したいと思います。

三つ目は、組織の検討であります。大きな変更はありませんが理事会の構成、会員の資格等、規則の見直しが総会で提案される予定です。

10周年と共に文化協会も変革のチャンスと考え、協力して邁進したいと思います。

文化協会一年間の歩み

5月12日（日）	第10回総会
7月1日（月）	第1回理事会
7月22日（月）	第1回広報委員会
8月7日（水）	第2回広報委員会
8月22日（木）	第3回広報委員会
9月5日（木）	第4回広報委員会
9月9日（月）	第3回理事会
10月7日（月）	第4回理事会
11月2日～24日	第11回桑名市民芸術文化祭
1月8日（水）	第5回広報委員会
1月20日（月）	第5回理事会
2月3日（月）	第6回広報委員会
2月20日（木）	第7回広報委員会
2月24日（月）	第6回理事会
3月8日～9日	春の文化市場
3月13日（木）	第8回広報委員会



平成9年12月に国指定文化財となった旧諸戸家住宅

桑名市文化功労者表彰

桑名市の今年度の文化功労者に、書道家の故平野公桑（本名・秀雄）さんと市文化財保護審議会会長の山本重治郎さんが選ばされました。

平野さんは、日展入選十回、市民

展の運営委員や市中央公民館の「書道講座」「書道サークル」で講師を務めるなど、書道を多くの市民に普及し、文化向上に寄与されました。

山本さんは、市文化財保護審議会会長として、国重要文化財の「六華苑」など文化財遺産の保護に積極的に取り組まれ、また、県日韓親善協会会長として日韓交流のためにも尽力されました。

山本さんは、市文化財保護審議会会長として、国重要文化財の「六華苑」など文化財遺産の保護に積極的に取り組まれ、また、県日韓親善協会会長として日韓交流のためにも尽力されました。

第11回市民芸術文化祭トピック

おしばい“桑名発”を終えて

演劇部門 小川 秀樹
(桑名演劇協会)

今年度も十一月十日(日)、午後、桑名市コミュニティプラザで、第11回桑名市民芸術文化祭～演劇の祭典～が開催されました。

昨年は「子ども演劇桑名」は出演者が少なく、今までのビデオ紹介に終わりましたが、今年は中学生一人と友情出演のダンスも入って、「金木犀の花香る頃」と題し、青春の入口の悩みを劇にしました。

ところが、学校五日制の反動で桑名・桑名北高校の演劇部が辞退し、桑名西高校が「結婚の条件」で、コミカルに演じて会場を明るくさせてくれました。

桑名・桑北の空きを、隣の「東員演劇サークル」に客演として特別出演していただき、「煙が目にしみる」を楽しく演じてくれました。劇団「すがお」で活躍したメンバーも出

演されており好評でした。最後は、高校演劇OBの演劇集団「桑西児」による「サイコ⇒ドラマ」は、多少難しい話でしたが見事に客を引きつけていました。

やはり、何と言つても課題は見て頂く人が少ないとしました。いかに宣伝し、客を増やすかが今後の課題です。来年は十周年記念「野外劇」でがんばります。



「アナログな文化」

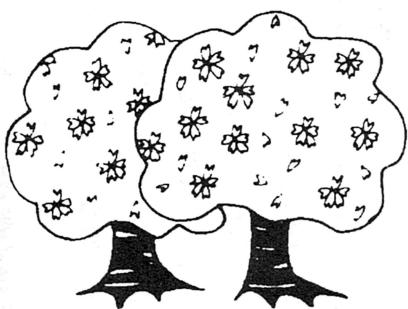
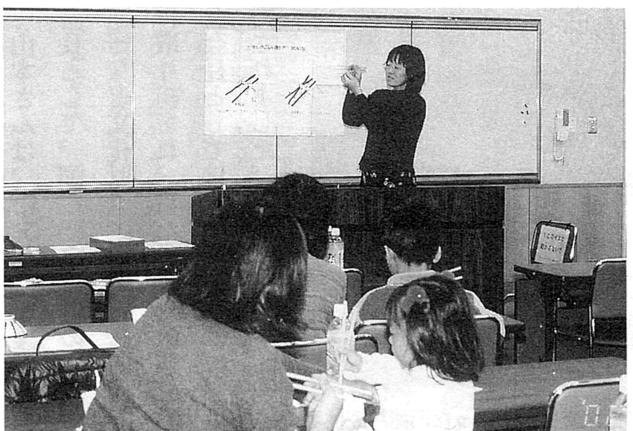
子ども文化部門 西村 けい子
(三重子どものマナー研究会)

我が部門では、団体ごとに午前・午後の二部に分かれて開催しました。午中児～小学三年生を対象に、和洋食のマナーを親子で体験学習しました。実際に箸やナイフ・フォークを扱うことで、日常の基本的な食事のマナーを覚えることができました。

今回は親子で参加したことで保護者にとっても学ぶべき点が多くたという感想も寄せられていました。

午後は、中京女子大学の棚橋美代子先生による「絵本と子育て」というテーマでの講演会でした。絵本の中に語られている登場人物やその背景を正しく読み取っていき、それを子どもに伝えていくことの大切さがわかりました。また、数々の絵本・木製玩具なども紹介され、参加者も実際に見て触れて、そして遊んでみることができました。外国製のくまぬいぐるみの抱き心地は、なんとも「癒し系」で、あちこちから歓声があがるという場面も見られました。これからも優れた文化芸術に直接触れ、親し

み、創造する機会を持つことができるようにと願いながら、これからも活動を続けていきたいと思います。



吟劍詩舞道の祭典を終えて

華道いけばな展

芸能II部門

水谷 元子

(桑名市吟劍詩舞連盟)

茶華香道部門

城田 正夫

(華道竹真流)

楽しくやろう



平成十四年十一月十日（日）第11回吟劍詩舞道の祭典が桑名市民ホールで会員四百名参加のもと開催されました。

十時開会、合吟、独吟、連吟、詩舞など日頃の研鑽の成果を発表しました。前回より少年少女らの参加もあり会場の雰囲気を和ませてくれています。

又、三団体より構成吟の披露がありました。宝笙流桑名より「桑名城哀史」岳風流岳精吟道会より「鎌倉幕府に懷う」関心流より「長安春望」など、それぞれの時代背景、作者の心、詩歌、詩舞などを取り入れ、ナレーターの醸し出す企画構成はすばらしいと思いました。毎年行われるこの大会に向け、会員一同日夜練習に励んでおります。

是非一度皆さまをお出かけ下さることを願っております。

趣味教養の範囲で茶華香道は特に和を第一と考え如何なる事もなごやかに過ごしたいのですが、今回準備の段階でもめ、役員一同本当に気を悪くした思いもありますが、話し合いにより今後絶対にない様に望みたいものです。

第11回市民芸術文化祭を終えて、今後も優雅伝統を発展させたいと思います。



平成15年度 六華苑での月釜予定
(午前10:00~午後3:30)

				開催日
三月二十一日(日)	遠州流	表千家流	裏千家	平成十六年一月十八日(日)
二月十五日(日)	池坊	竹真流	草月流	十月十九日(日)
一月二十一日(日)		MOA山月光輪花		九月三十日(日)
				七月三十日(日)
				五月十八日(日)
				四月二十日(日)
				茶道担当流派
				華道担当流派
				勅使河原和風会

*茶会は離れ屋、華道展は番蔵棟で行います。

第11回芸術文化祭の美術部門は、6部門（日本画・洋画・書道・写真・工芸・彫刻）に21団体560名から134点の作品を展示し、観て知つて戴く事が出来ました。なにぶんにもコミュニティプラザの会場が手狭なため、各団体の会員様の出展機会が五年に一回程度の現状の中、皆様お一人お一人が団体・分野は違えども、会場設営から会場周りにノボリを立てて広く市



民の皆様に観覧に来ていただける様、一同知恵を絞つてきました。これも創作の楽しみに付随する同好の友人達ができる出逢いの楽しみが、その地域の美術・文化に対する熱い思いの結果だと思います。お陰様で多数の方々に観て知つて戴く事が出来まして本当に有難うございました。

文化活動の輪

冒頭の加藤副会長の御挨拶にもあります、地域文化の振興・発展と交流にあるかと思います。本号では桑名市内での様々な文化活動を採り上げて紹介して行こうと思い、全日本かるた協会の大原先生と、今回全国大会出場の栄光に輝いた正和中学校吹奏楽部に原稿を依頼しました。また、次ページでは文学部門の方々の作品を紹介する企画をさせて頂きました。

平成八年社団法人全日本かるた協会の設立により東海支部長として底辺拡大を目的として初心者の指導をしています。

毎年一月上旬行われている名人戦、クイーン戦の立合人として平成九年より五年連続勤めさせていただきました。百人一首競技かるたは、まだ一般的に普及されていませんので、皆さん方のご支援ご指導をよろしくお願ひ致します。

みなさん「百人一首競技かるた」をご存知ですか？百人一首かるたの楽しみ方にも「坊主めぐり」「ちらし取り」「源平戦競技かるた」いろいろあります。私たち桑名若菜会は競技かるたを通じて日本の伝統文化である百人一首かるたの発展普及を目的として活動しています。

毎年三月中旬桑名市体育館にて全国かるた大会を開催し今年で六十一回となります。

私は大正十二年創立の桑名若菜会

に入会し故角倉及び故伊藤会長の指導を受け、昭和六十三年三代目の会長となりました。その後桑名若菜会を発展的に名称変更し、桑名市を中心に戸郡、四日市市、久居市、松阪市を統合し、平成十四年三重県かるた協会を設立しました。現在会員数七十名余り幼稚園児から八十歳を越えたお年寄りまで競技かるたを親しんでいます。



正和中学校吹奏楽部

顧問 伊藤 宏樹（教諭）

吹奏楽部員70名、顧問二人。練習は、朝・放課後・土曜・日曜と日々懸命に練習に取り組んでいます。私が赴任して六年になりますが、三年目の三重県優勝をきっかけに、五年目、六年目東海大会（愛知・三重・岐阜・長野・静岡）優勝、全国大会まで出場できるようになりました。

おかげさまで『正和中は透明なサウンド、個人のレベルの高さ』と全国的に評価を受けています。私の指導のポイントとしては、「音楽専門の道に卒業後も入っていける」ような、かなり専門的な指導を心掛けています。『大人顔負けの演奏』とよく褒められますが、本当に基本的な力さえついていれば、大人も子どももありません。中学生と言えども、ドビュッシーやラベルの音楽も、充分表現できます。とにかく子どもたちは、文化を継承していく金の卵ですから、一人ひとりしっかり育ててやりたいのです。

そして音楽とともに、運営面も大切にしています。一人ひとりが係を持ち、自主的に活動させています。ボランティア活動、障害者のための演



奏会、小学校・保育園訪問演奏など、地域に向かっても積極的に活動しています。おかげさまで、県民文化祭はじめ、県外からもいろいろ招待を受けています。今後も、子どもたちへの音楽教育に尽くしていきたいと思っています。現在、自分の教え子がプロ活動、海外留学など幅広く活躍しています。そんな教え子と、『音楽の都、桑名』めざして、頑張りたいと思います。

文協文芸

俳句

市民文化祭出展(感銘句)

石井 いさお
(俳句 あやめ会)

アルプスを焼き付けて来しサング
ラス 菊田 真佐
修辞が抜群。登攀した喜びをサング
ラスに託した表現は心憎い。

月見酒李白好みと杜甫びいき

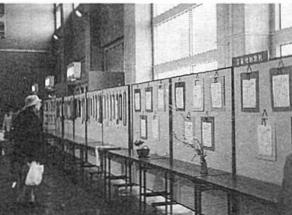
伊藤 文郎
李白は絶句、杜甫は律詩が得意。即物具象派の李白、形容得意の杜甫と生きざまも含め評価は二分される。

李白好みと杜甫びいき

森内 利之
李白は絶句、杜甫は律詩が得意。即物具象派の李白、形容得意の杜甫と生きざまも含め評価は二分される。

海の色背に湛えて初さんま
海の大きな青色をさんまの背中一点に凝縮した句。焦点を絞りこんだ技法鮮やか。

展示風景



晩学の墨する吾にちぢろ鳴く
伊藤 ふさ子

夜遅くまで努力するその熱意にちぢろ応援歌。晩年かくありたし。

登りつく山黄昏の芒風
稻垣 武

詩情あふれる句。充足感が伝わって
くる。

総評



「耕」という字がある。俳句では春耕とか冬耕とか使う。嘗々とくり返されてきたこの「耕」がすっかり機械化され、土にじかに親しむことがめっきり減った。土との会話がなくなつたのだ。耕せば耕すほど土は期待に答えてくれると分かっていてもつい辛い作業から逃げ出してしまふ。詩囊も肥やせば肥やすほど佳作ができると分かっていてもつい手抜きをしてしまう。

第六回一楓・山城顕彰短歌の小・中学生の作品は、小学生四九八首、中学生七二七首に及んだ。学校行事も多い中、この催しへの先生方の深い御理解と御協力に心から感謝し、一層の御尽力をお願いしたい。瑞々しい発想や素直な表現の作品に、大人が磨かれる思いである。

十一月二日・三日の市の文化祭に優秀作品を小学生十首、中学生十首、一般会員から二十首を展示した。その作品の一部を紹介させて頂く。
桃の皮手にゆっくりと剥がしゆく
裡なるものを探るごとくに
(会員) 伊藤 紗代
家映る大きな鏡そこにある水の入った田んぼの中に
(小) 中久木 由佳

金雀枝短歌社は、昨年創立七十五周年を迎え、記念大会を無事終えることができた。
しかし会員の高齢化に伴つて年々減少していく中、若い層への短歌普及がでければとの願いもあり、一楓山城顕彰短歌大会の一環として、桑名市内の各小中学校に応募の依頼を続けてきた。

中学生の作品は、小学生四九八首、中学生七二七首に及んだ。学校行事も多い中、この催しへの先生方の深い御理解と御協力に心から感謝し、一層の御尽力をお願いしたい。瑞々しい発想や素直な表現の作品に、大人が磨かれる思いである。
散步にも老いて崩さぬ身だしなみ川柳が触れる。私たちは、うなずかせ、時代を見せる作品を心掛けたい。ここに昨年の文芸展に掲出した中から目を据えて五句選んだ。

川柳

三田 香代子
(金雀枝短歌社)

佳句紹介

木原 広志
(くわな川柳会)

昨日、私たちの目にはさまざまなかたつむりにアパート暮らし笑われる 棍 泰栄
空き缶の捨て場になつた分離帶 水谷 真

かばん中すっぽいかおり大好きな
毎年つけるママの梅干し
(中) 水谷 彩加

短歌

地道な歩みを願つて

川柳

川柳

佳句紹介

木原 広志
(くわな川柳会)

川柳は「一説明解」、一句を読みきった時、情景が見えるもの、と同時に読み手に感動を与えるもの。五句には各々絵がある点がよい。川柳は感動をくれる詩もある。

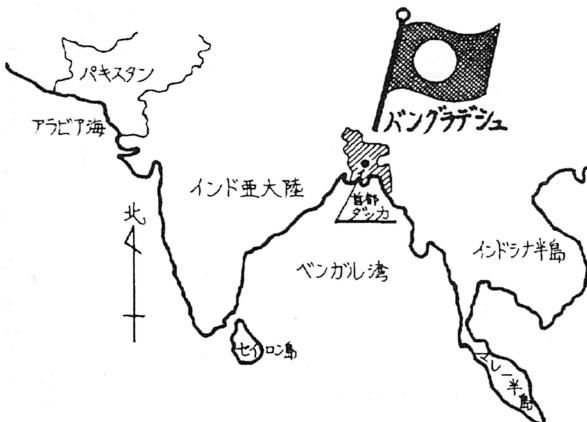
随筆

バングラデシュ支援に御理解を…

社会文化部門 奥村 奈津子（桑名ユネスコ協会）



初めて水彩絵の具を使う
「CLC桑名」の子供達（バングラデシュ）



桑名ユネスコ協会は、南アジアの小国バングラデシュの支援を柱に活動をしております。その地区に市民の協力で「地域学習センター桑名」を建設して二年になります。協力に対する報告と活動を知つてもらう目的で、ユネスコデー

「本場の料理と楽しいゲームでバングラデシュを体験しよう」を11月に開催しましたが、中央公民館調理室は独特の香辛料の匂いと丸ごとの骨つき鳥肉に戦慄する参加者でござやかなものとなりました。右手で

食べるチキンカレーはイスラムの国バングラデシュが少し近づいた一時でした。又、イスラム文化を学ぶシリーズを一年に三回企画し、会員始め一般の人たちにも参加を呼びかけております。

我々が見て、聞いて知った現状を人に伝えていくこと、そして人と人とのつながりの重みと、こつこつと続けていく市民レベルの交流の意義をかみしめながら活動に取り組んでいます。

桑名市文化協会への入会方法

桑名市文化協会は、広く市民の文化活動並びに文化事業の振興と連帯感の育成を図り、もって市民の豊かな文化的創造と発展並びにふれあい豊かな地域社会づくりに寄与することを目的に活動しております。この目的に賛同していただける方を募集しています。

普通会員（文化活動を行っている団体及び個人）

特別会員（本会の目的並びに事業を賛助する団体及び個人）

入会するには、事務局（教育委員会文化課内）にある入会申込書に必要事項を記入し、ご提出ください。理事会の承認を得て入会となります。

ただし、當利・政治・宗教の諸活動を主目的とするものは入会することはできません。

第11回総会予告

平成15年5月11日(日)午前9時30分
桑名市民会館 大会議室にて

○平成14年度 事業報告・決算報告

○規約改正について

○役員改選について

○平成15年度 事業計画・予算案

☆各部門ごとに代議員を選出
詳しくは、各部門長から連絡。

事務局通信

編集後記

昨年度につづき年一回の発行に漕ぎつけることができた「桑名文協」いかがでしたでしょうか。従来の「文化祭の報告」的なものから一步踏み出して、桑名文協の輪の広がりにつなげたいと思い、随想記事や作品紹介、また会員以外の方からの寄稿など、私たちなりにアイデアを作り使して参りました。

市民芸術文化祭十周年につづく文化協会創立十周年、まさに地域文化の振興・交流は、これをお読みのみさんの意気込みにかかっています。この誌面がその潤滑油として、これからも愛されるなら幸甚の至りかと存じます。

広報担当常任理事
委員 文学部門
音楽部門
芸能Ⅰ部門
芸能Ⅱ部門
芸能Ⅲ部門
茶華香道部門
演劇部門
社会文化部門
趣味教養部門
子ども文化部門

西村 邦彦
山上 貴
月井 澄郎
日置美知代
松尾 廣文
伊藤 昇三
岡本 早苗
上木 美代子
小川 秀樹
大河内 浩
福本さとり
西村けい子